

ボツワナの現状

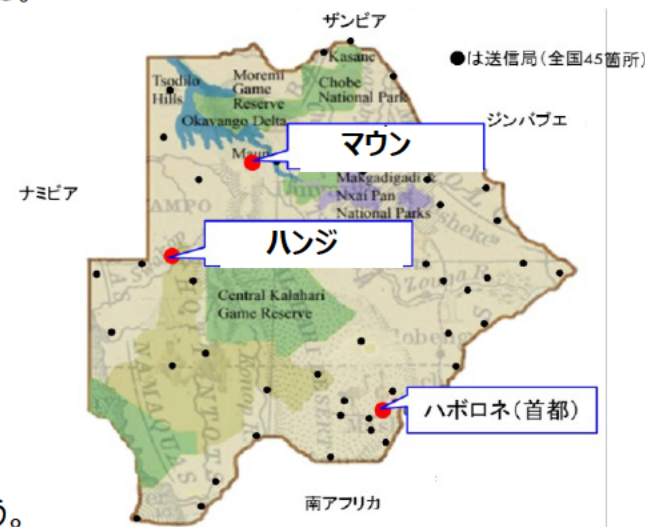
- 2013年7月、首都ハボロネで地デジ放送が開始。2015年10月、地デジ送信機も全国45か所に設置が完了。
- デジタル移行の完了に向けたアナログ放送の停波（ASO：アナログスイッチオフ）については、2017年10月に中西部の都市ハンジで初のASOを実施。2018年3月には北部の都市マウンでも実施。

ボツワナにおける課題

- ASO未実施の43地域については、2019年末から順次ASOを実施し、2021年中に完了することを計画。受信機の普及やASOについての周知広報が課題。
※ASO実施のためには、各地域でアナログ放送視聴世帯の65%に受信機が普及している必要がある。

日本の支援

- 総務省では、ボツワナ全国への受信機普及のための流通体制等に係る調査を実施済。
- JICA専門家を派遣中であり、ASO周知広報活動案を提言。
- TICAD 7において、地デジ放送の普及を支援する意向を表明。
- 引き続き、専門家派遣をするなど、ボツワナ全国でのASO実施に向けて必要な支援を行う。



【参考】ボツワナの送信局位置等